

がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	レジメン名
	多発性骨髄腫	EPd
投与予定	休薬を含めて1クール 28 日 可能な限り	

Rp	薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	手技・用法	投与時間	投与日(day -)			
							1	8	15	22
1	生食 デキサメタゾン ファモチジン	50ml 6.6mg 20mg	/		点滴静注	15分	↓	↓	↓	↓
2	生食	100ml	/		点滴静注	45分	↓	↓	↓	↓
3	生食	※		#REF! ml						
	1-2クール目 エロツズマブ	10 mg/kg	#REF! mg/body	#REF! mg/body						
3	溶解用の蒸留水	100ml規格で		実際の投与量 ml	点滴静注		↓	↓	↓	↓
	3クール目以降 エロツズマブ	20 mg/kg	#REF! mg/body	#REF! mg/body						
3	溶解用の蒸留水	100ml規格で		実際の投与量 ml			↓	↓	↓	↓
	医師の指示通り									
4	生食	50ml	/		点滴静注	5分	↓	↓	↓	↓

Rp	薬品名	薬価最小組み合わせ	備考
3	エロツズマブ	1-2クール目	300mg1vは13ml 400mg1vは17mlの注射用水で溶解し、25mg/mlの濃度とすること。 ※患者の体重から計算した必要量をバイアルから抜き取り、通常、生食又は5%ブドウ糖液で以下のように希釈すること。 体重 50kg未満 50kg~90kg 90kg超 希釈液量 150ml 250ml 350ml
		内訳	
		300mg 0mg	
		400mg 0mg	
3	エロツズマブ	3クール目以降	本剤は0.5ml/分の投与速度で点滴静注を開始し患者の忍容性が良好な場合は、患者の状態を観察しながら、投与速度を以下のように段階的に上げることができる。 ただし、投与速度は5ml/分を超えないこと。
		内訳	
		300mg 0mg	
		400mg 0mg	

<10mg/kg投与時の投与速度>				<20mg/kg投与時の投与速度>				
投与時期		投与速度(ml/時)			投与時期		投与速度(ml/時)	
		0~30分	30~60分	60分以降			0~30分	30分以降
第1クール	初回投与	30	60	120	1回目投与	180	240	
	2回目投与	180	240			2回目投与以降	300	
	3及び4回目投与	300						
第2クール以降		300						

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間
ポマリドミド	4mg	分1 朝食後	day1~21
デキサメタゾン (レナデックス)	28mg (75歳超えは8mg)	分1 朝食後	day1、8、15、22 3クール目以降はday1
(3クール目以降) デキサメタゾン (レナデックス)	40mg (75歳超えは20mg)	分1 朝食後	day8、15、22
イブプロフェン	100mg	エロツズマブ 投与60分前	day1、8、15、22 3クール目以降はday1
d-クロルフェニラミン	2mg		

エロツズマブ投与時には0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与すること。

3クール目以降は、day1に施行
デキサメタゾン内服は28mgをエロツズマブ投与の3~24時間前に投与すること。
ポマリドミド・デキサメタゾンの用量・投与期間は、患者の状態で変更する場合があります。

備考	
----	--